

自治体基幹業務サービス

青木 英司

要旨

厳しい財政状況が続く自治体では、ITコスト削減と業務改革（BPR）が大きな課題となっています。これらの課題をクラウドで解決できないかとの検討が始まっています。

このような状況の下、NECは、自治体の業務システム全体をSaaS形式で提供する基幹業務サービス「GPRIME for SaaS」（ジープライム フォーサース）を整備しました。従来の個別システム構築に比べ、低コスト、短期間でのシステム導入が可能なほか、職員のシステム運用、法制度改正対応負担の軽減を実現します。

キーワード

- クラウド ●SaaS ●コスト削減 ●自治体基幹業務 ●業務改革 ●BPR ●管理・運用負担軽減

1.はじめに

自治体においてもITに関するTCO削減や運用の外部アウトソーシングを実施するため、クラウドへの期待が高まっています。特に、財政状況が厳しくIT専門職員が少ない小規模な自治体においては、基幹システム全体をSaaS形式で利用したいとのニーズが増加しています。

こうしたニーズに応えるべく、人口規模10万人未満の自治体向けに基幹業務サービス「GPRIME for SaaS」（ジープライム フォーサース）を整備し提供を開始しました。ここでは、本サービスの提供経緯、概要、特徴について紹介します。

2.自治体の現状及び課題

景気後退に伴う税収減や社会保障関連予算の増加に伴い、自治体の財政状況は年々厳しくなっています。一方で、後期高齢者医療制度や子ども手当など新たな制度の創設や法制度改正が続いており、IT関連経費は増加傾向にあります。

更に、オンライン申請（電子申請）など住民・企業向けサービス向上の一環としての電子自治体化や情報セキュリティの強化、BCP対策など実施すべきことは数多くあります。しかし、職員リソース及び予算の制約がありシステムの法制度改正を優先せざるを得ないため、ほかの業務については十分な対応を行いにくいのが現状です。限られた職員でいかにコストを抑え、業務を遂行していくかが喫緊の課題となっています。

3.NECの解決策～基幹業務のサービス提供～

NECは上記課題を解決するために、自治体の業務システム全体をSaaS形式で提供する「GPRIME for SaaS」を整備しました。これまで数多くの自治体で採用、稼働している業務パッケージをベースにサービス化しましたので安心してお使いいただけます。

更に、基幹業務に付随するデータ入力、帳票出力、封入・封緘、配送作業もアウトソーシングサービスとして提供し、基幹業務支援にかかるトータルなサービスを実現します。

自治体は、「GPRIME for SaaS」が提供する標準業務プロセスに合わせた業務改革（BPR）を実施することにより、基幹システムにかかるトータルコスト（TCO）を弊社従来比約30%の低減を見込むとともに、法制度改正などに伴うシステム変更などの負担を大幅に軽減することが可能となります。

また、システム導入期間も弊社従来比で約50%短縮することを見込んでいます。この低減したコストや効率化された職員のリソースを住民サービスの強化にシフトすることで、更高的な住民満足度向上が期待されます。

4.サービスの概要

4.1 サービス提供対象業務（業務サービスメニュー）

図1にありますように、自治体の基幹業務である「住民情報」「総合窓口」「財務会計」「人事給与」「文書管理」の

クラウド指向サービスプラットフォームソリューション/サービス(コンサルティング、SaaS) 自治体基幹業務サービス

サービス名称	業務内容	サービス名称	業務内容
GPRIME for SaaS (住民情報)	住民登録 外国人登録 印鑑登録 選挙 国民年金 学齢簿 宛名・納付管理 国民健康保険(資格) 国民健康保険(賦課) 個人住民税 法人住民税 軽自動車税 固定資産税 収納業務 滞納管理 後期高齢者医療 福祉医療 児童手当 児童扶養手当 保育所保育料	GPRIME for SaaS (住民情報)	幼稚園保育料 介護保険 住宅使用料
		GPRIME for SaaS (総合窓口)	総合窓口支援
		GPRIME for SaaS (財務会計)	予算編成 予算管理 予算分析 歳出管理 歳入管理 歳計外現金管理 出納管理 決算管理 決算統計
		GPRIME for SaaS (人事給与)	人事管理 給与計算 福利厚生
		GPRIME for SaaS (文書管理)	起案保管 保存管理 情報公開

図1 サービス提供業務一覧

計5業務システムをSaaS形式で提供します。

4.2 業務共通サービス

業務共通のサービスとして、標準で以下の4つのサービスを提供します。

(1) SaaS基本サービス

第4章第1節で記載した業務システムをSaaS形式で提供します。データセンター施設利用、サーバ環境利用、基本保守が含まれています。

(2) 運用サービス

データセンター運用サービス、ヘルプデスクサービスで構成されます。

(3) システム導入支援サービス

導入コンサルティング、業務サービス導入に当たっての準備作業、運用設計、管理者向けの研修サービスを提供します。

(4) データ移行支援サービス

サービス適用スケジュールに合わせ現行システムから標準フォーマット経由でデータ移行を行います。

5. サービスの特徴、導入メリット

300団体以上で採用されている自治体向けソリューションで培った豊富な実績とノウハウをベースとした安心・確実な

サービスを提供します。サービスの主な特徴、導入メリットは以下の通りです。

5.1 標準業務サービス利用によるコスト削減

標準的/共通的な業務サービスを利用し、個別カスタマイズを行わないことで、サービス導入時のコスト及び、利用期間中の保守にかかるコストを抑制し、トータルコスト (TCO) を削減します。

5.2 完成されたサービスで短期導入を実現

既にSaaS形式で稼働実績のある完成されたサービスですので個別のシステム構築・導入に比べ短期間での導入が可能です。また、個別のニーズには、パラメータ設定など簡易な作業で対応します。

図2は、弊社が想定する標準的な導入スケジュールです。サービス適用のための導入コンサルティングから、SaaS適用(パラメータ設定)、各種データ移行、職員教育までを5~7ヶ月で実施し短期間での導入を実現します。

5.3 長期間の継続利用が可能

定額のサービス利用方式により、平準化された予算での運用が可能となります。また、弊社が継続的にサービスを提供



図2 標準導入スケジュール

執筆者プロフィール

青木 英司
公共・医療ソリューション事業本部
イノベイティブサービスソリューション
事業部
自治体クラウド推進部
部長

しますので、安心して長期間、安定したシステムをご利用いただけます。

5.4 職員のシステム管理負担を軽減

システム資産を持たない、システム管理・運用を含めたサービス利用方式により、職員の運用・管理負担を軽減します。また、法制度改革に関しても弊社がサービス提供者として対応します。

5.5 拡張性、将来性あるサービス

現在システム化されていない業務も、豊富な業務サービスメニューから必要なものを追加することにより、随時拡張できます。今後の更なる利便性向上・業務の効率化と、住民サービスの向上に寄与します。

6. おわりに

昨今、IT投資の平準化やシステムのTCO削減のニーズが強まる中、SaaSを含めたクラウドサービスに対する関心が高まっています。NECは、システム構築事業に加え、「クラウド指向サービスプラットフォームソリューション」を始めとするサービス事業を進めています。

「GPRIME for SaaS」もこうした活動の一環であり、先行してご採用いただいた自治体では大きな効果が出ています。

今後、NECはNECネクサソリューションズや全国のパートナー企業と一緒に、いっそうのサービスメニューの拡充を図り、自治体のIT投資負担軽減、業務改革に貢献します。